

16 上末吉 地区

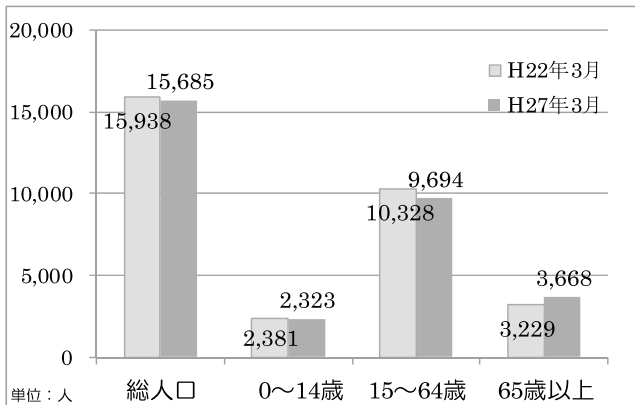
1. 地区概況

鶴見区の北部に位置し、鶴見川、三ツ池公園など自然環境に恵まれています。駅までの交通手段はバスが主流で、最寄り駅は鶴見駅ですが、バスで綱島駅、新横浜駅に行くこともできます。住宅、工場、マンションが混在している地域があります。末吉大通りに商店街があり、生活の基盤になっています。



2. 上末吉地区の人口（年齢区別別）

	H22年3月 (年齢区別比率)	H27年3月 (年齢区別比率)	【参考】H27年3月 (鶴見区全体の年齢区別比率)
総人口	15,938人 (100.0%)	15,685人 (100.0%)	(100.0%)
0～14歳	2,381人 (14.9%)	2,323人 (14.8%)	(13.3%)
15～64歳	10,328人 (64.8%)	9,694人 (61.8%)	(67.0%)
65歳以上	3,229人 (20.3%)	3,668人 (23.4%)	(19.7%)



- 5年前に比べると、総人口が253人減っています。
- 65歳以上の人口が439人増え、高齢化が進んでいます。

※地区別人口については、集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。 出典「横浜市統計ポータルサイト」

3. 第2期計画

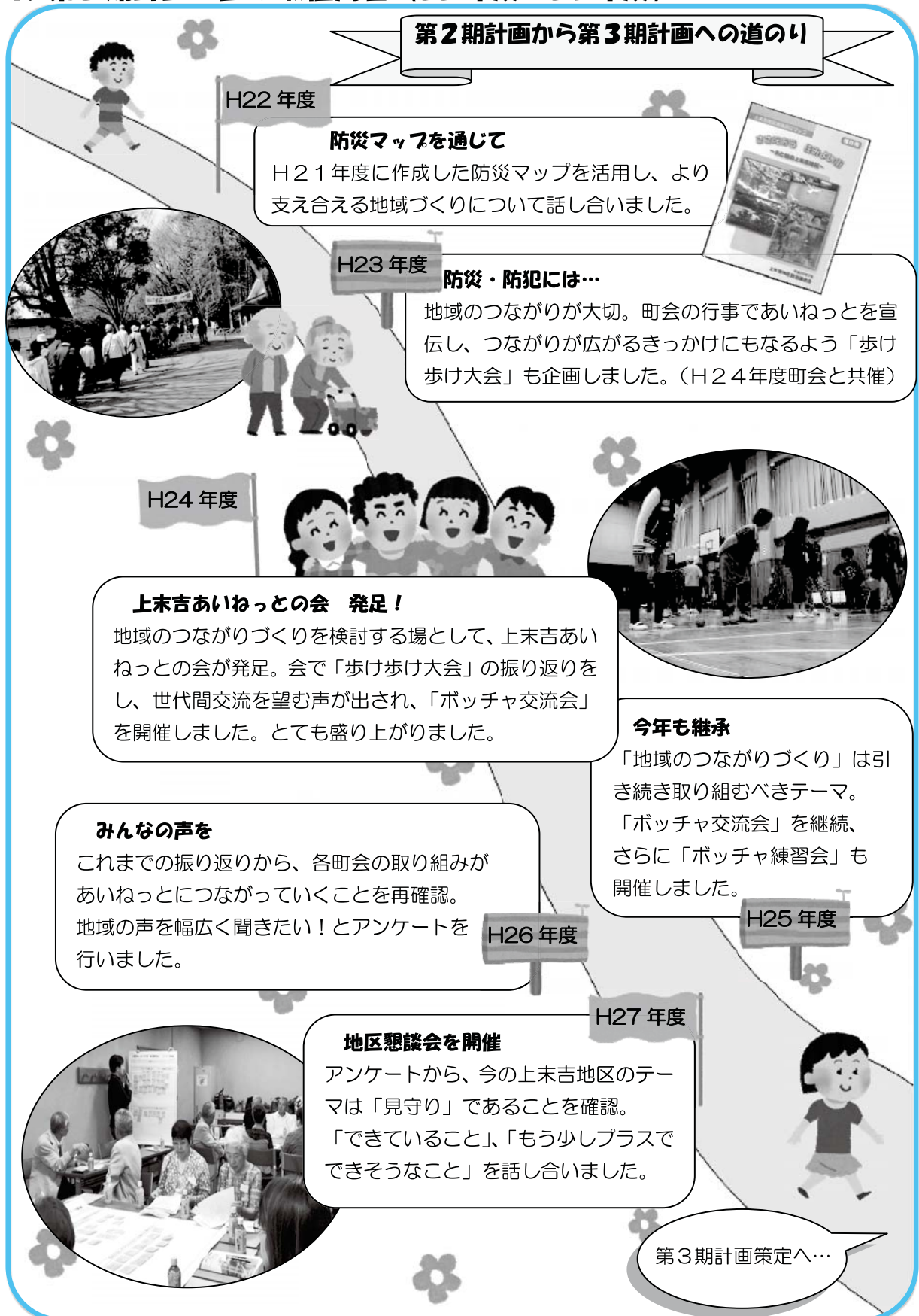
～ささえあう、住みよい上末吉地区を目指して～

- 防災マップを通じて住みよい地域づくり
- 高台に住んでいる親子・高齢者の居場所づくり
- 行事を通じて新たな地域活動の担い手づくり

みんなでもっと安心安全な上末吉地区にいきましょう



4. 第2期計画の主な取組内容（22年度～27年度）



5. 第3期計画策定に向けて

上末吉地区懇談会開催！

平成27年6月19日（金）18:00～20:00
末吉地区センター 中会議室にて
町会長、民生委員、スポーツ推進委員、保健活動推進員、ボランティア団体の方々が参加し、『見守り』をテーマに熱心に意見交換がされました。



日常のさりげない一言が顔の見える関係作りにつながるかも！

子育て世代、高齢者など同年代だからできる繋がり、仲間づくりを大切にしよう

「見守る」「見守られる」だけでなく、「見守り合う」形も大事にしよう



馴染みのあるお祭りや運動会、ポッチャ大会や新たなイベント等に多くの人が来ることで、一人でも多くの顔見知りができるよう、ちょっとした工夫をしよう

第3回上末吉あいねっとの会で 上末吉地区第3期計画が決定！

平成27年8月24日（月）18:00～20:00
上末吉2丁目会館にて
第2回あいねっとの会で出された意見をもとに、地区のキャッチフレーズや第3期に向けた5年間の具体的な取組などについて意見交換・確認をしました。

第1回上末吉地区あいねっとの会

平成27年4月24日（金）
末吉地区センターにて
上末吉地区懇談会に向けて会の進め方等について話し合いをしました。

【上末吉地区アンケート】

- （H26年度実施）より一部抜粋
- ◎お手伝いしてほしい事は？の質問に、高齢層だけでなく子育て世代からも「安否確認の声かけ」「災害時の避難の手助け」という回答が多くありました。
 - ◎住みよい街になるために必要な取り組みには①あいさつ②高齢者世代等への日頃からの見守りなどの回答がありました。
 - ◎あいさつ、声かけや日頃からの付き合いが大切だという意見が多くありました。

第2回上末吉地区あいねっとの会

平成27年7月17日（金）
末吉地区センターにて
上末吉地区懇談会で出された意見を①住民として出来ること（日頃の交流など）②組織や仕組みとして行っていること（声かけなど）③場・機会の提供の3本柱に分けて意見交換しました。お祭りは若い人に活動してもらうチャンス！担い手不足の現状も出ました。

6. 第3期計画策定（28年度～32年度）



交流を深め、ささえあう、住みよい上末吉地区を目指して

目標1

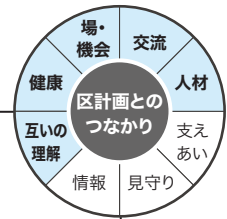
既存の行事や活動を充実させて、
世代をこえたつながりをつくろう

■現状の良いところ・課題

- ・ポッチャ大会等スポーツを通じて、交流を広げています。
- ・町内会館を活動の場として活用しています。
- ・お祭りを伝統行事として、大切に引き継いでいます。
- ・行事を通じて、新たな担い手を育てよう。

■5年間の具体的な取組

- ◎子育て世代、高齢者など、同年代だからできるつながり、仲間づくりを大切にし、馴染みのある行事やポッチャ大会などの新たなイベントで、一人でも多くの「仲間」ができるよう工夫しよう。
- ◎お互いに支えあう形を大事にしよう。
- ◎さまざまなアイデアで活動の場を増やし、交流の活性化だけでなく、防犯対策にもつなげよう。
- ◎地域の組織や団体を活性化させ、新たな担い手をみつけよう。



目標2

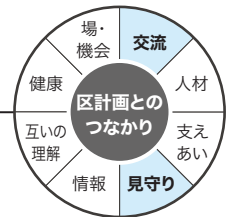
日頃の交流を深めよう

■現状の良いところ・課題

- ・日常的なあいさつや交流ができています。
- ・つながりを深める関係作りを工夫しよう。

■5年間の具体的な取組

- ◎行事やイベントに気軽に参加できるように、声かけをしていこう。
- ◎ごみだしや犬の散歩などを通じて、日頃から交流していこう。



目標3

日頃の交流を、見守り・支え合いの輪に広げよう

■現状の良いところ・課題

- ・既存の見守り活動を活用しています。
- ・関係機関と情報共有ができています。
- ・必要なところに情報を届ける工夫をしよう。

■5年間の具体的な取組

- ◎より丁寧な見守り活動をするために、区役所・区社協・ケアプラザと情報を共有しよう。
- ◎既存の見守り活動をしている団体とのつながりを深めよう。

